会報

茨城

IBARAKI

67
2018 JUL

The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms

http://www.i-jk.org

第31回

茨城建築文化賞

一般社団法人
茨城県建築士事務所協会

●通常総会
日 時／平成30年5月18日(金)
会 場／ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸
報 告／総務委員会委員長　井坂 光宏

報告

平成30年度通常総会開催される

平成30年度通常総会が、去る5月18日(金)、ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸に於いて開催されました。

総会の来賓として茨城県知事大井川和彦氏(代理 小野寺俊氏 茨城県副知事)、参議院議員 岡田広氏、水戸市長 高橋靖氏、茨城県議会議員(協会顧問)西野一氏、茨城県土木部長伊藤敦史氏(代理 小室昌彦氏 土木部次長)茨城新聞社水戸支社長二方善郎氏、一般社団法人茨城県建築士会会長 柴和伸氏ほか、数多くのご臨席を賜りご祝辞をいただきました。

定刻の午後2時に、司会の進行により、正会員487事務所のうち、出席93、委任状240、合計333となり、定足数を満たしたため、平成30年度通常総会が有効に成立する旨が告げられ、舟幡副会長の開会の辞により総会が開会されました。

出席者ご紹介

参議院議員
岡田 広 氏

茨城県議会議員
西野 一 氏

水戸市長
高橋 靖 氏

新会長挨拶

2018年5月18日の総会及び理事会におきまして、皆様からのご推挙を頂き会長に就任いたしました舟幡健です。

横須賀満夫前会長の後を受け、前会長が推進して参りました事業計画を皆様のご協力を頂きながら取り組んでいく所存です。

昨今の建築業界は、公共投資や住宅投資の減少、担い手不足、技術継承の困難など様々な課題が山積しており、特に地方においては、その傾向が顕著になっております。

そういう状況のなか、告示第15号･業務報酬基準改正の検討、働き方改革などが進められているところでありますが、それらは建築士事務所の経営力の強化、優秀な人材の確保などに関わってくるものでありますので、協会といたしましても積極的に取り組んで参りたいと考えております。

こうした取り組みを進めるためにも新しい仲間を協会に招き入れるとともに、正会員、賛助会員の皆様のお力を結集しながら、力強く前に進んで参りたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
会長 舟幡 健

報告●平成30年度 …… 01
通常総会開催される
報告●第4回 …… 06
「茨城学生建築展」が開催されました
理事会だより／委員会だより …… 08
会員地域一覧 …… 11
新会員紹介 …… 12
速報●「JAなめがた家族葬ホールの建築設計プロポーザル」の審査結果 …… 13
特集●第31回 …… 15
茨城建築文化賞
第31回茨城建築文化賞 講評 …… 26
編集後記 …… 32

表紙の写真／流通経済大学
龍ヶ崎キャンパス2号館

contents

The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms
IBARAKI

67
2018 JUL
会報
茨城
題字／大井川 和彦(茨城県知事)
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2018年7月 第67号
http://www.i-jk.org

茨城県知事賞を授与された
清水建設株式会社一級建築士事務所

会員増強表彰を受ける小沼隆志氏

県議会議長賞を授与された
株式会社河野正博建築設計事務所

住宅部門最優秀賞を授与された
岩瀬卓也建築設計事務所

茨城新聞社賞を授与された
株式会社ヤマト建築設計事務所

県土木部長賞を授与された
株式会社andHAND建築設計事務所

茨城建築文化賞の講評を述べられる審査委員長の長島氏

省エネ賞を授与されたアーネストアーキテクツ株式会社

リフォーム賞を授与された
住友林業ホームテック株式会社つくば支店

始めに、横須賀会長が主催者を代表して、行政機関や関連諸団体、及び会員各位の日頃からのご支援やご協力に対し感謝の意を述べられました。来賓紹介の後、表彰式が行われ、会員増強表彰で5社、永年会員表彰では正会員3社、賛助会員1社に横須賀会長から感謝状と共に記念品が贈呈されました。

この後、「第31回茨城建築文化賞」の表彰式が行われ、最優秀賞である茨城県知事賞に輝いた清水建設株式会社 一級建築士事務所「流通経済大学龍ケ崎キャンパス2号館」をはじめ、県議会議長賞の株式会社河野正博建築設計事務所「土浦協同病院付属看護専門学校」、県土木部長賞の株式会社andHAND建築設計事務所「木洩れ日トイレ」、茨城新聞社賞の株式会社ヤマト建築設計事務所「ケアステーション梅寿園」、そのほか入選6点、住宅部門優秀賞3点、リフォーム賞1点、省エネ賞1点に対し賞状と記念品が授与され、審査委員長の長島一道氏から審査経過と講評が発表されました。

続いて、議事に入り、定款第22条の規定により横須賀会長が議長となり、第1号議案「平成29年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成30年度事業計画並びに収支予算承認の件」が審議の上、原案通り可決されました。また第3号議案「平成30・31年度役員選任の件」につきましても可決されました。その後、新しい役員による新理事会の結果、舟幡健会長、田中健一副会長、青山立美副会長、増山栄副会長が選出されました。全ての審議が終了し、田中健一副会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。

通常総会終了後、同ホテルにて懇親会が行われました。ご来賓、正会員ならびに賛助会員の方々に多数参加頂き、親睦・交流の深まる大変有意義なひと時を過ごすことができました。

なお通常総会後に、平成30年度茨城県建築士事務所政経研究会通常総会も開催され、無事修了いたしましたことを併せてご報告いたします。

最後になりましたが、会員皆様のご協力とご支援に感謝を申し上げ、通常総会の報告とさせていただきます。

新理事会の結果、舟幡健会長が選出されました。

舟幡 健新会長

旧会長から新会長へ

懇親会

総会後の懇親会には、参議院議員岡田広氏、水戸市長高橋靖氏にもご参加いただき多くの正会員、賛助会員が笑顔で親睦を深めました。

平成30年度 事業計画

本協会設立の趣旨に基づき、建築士事務所の社会的使命と責任を自覚して、1級・2級・木造建築士事務所、また専業・兼業建築士事務所の別なく、広く県内建築士事務所の経営改善と建築技術の向上をはかるとともに、互いに交流を積極的に行い、その団結を深めることにより、本建築設計・工事監理業務の発展に寄与し、ひいては建築文化の向上と地域社会の発展を図るため次のとおり事業を行う。

1.県民の居住水準の向上と建築関連業界の活性化を図るため、各種事業の情報を提供する。

(1)住まいの無料相談会　毎月第1･3土曜日、各自治体の相談会
(2)耐震診断・耐震改修相談窓口　随時
(3)マンション等の基礎工事に関する相談会　随時
(4)既存住宅状況調査に係る相談窓口　随時

2.行政情報の適正かつ効率的な伝達に寄与するため、各種の情報を提供する。

(1)建築行政会議の開催
(2)特殊建築物等定期報告の促進指導
(3)完了検査の推進

3.優れた建築物や、まちなみの完成に貢献した建築設計事務所を表彰する。

第32回茨城建築文化賞表彰事業

4.県内の建築系学科を有する学校の学生が考案した、優れた建築物や都市計画等を表彰する。

第5回茨城学生建築展

5.建築士事務所の業務及び建築技術の進歩向上に資するため、広く県内建築士事務所その他建築関係者を対象に研修会・講習会を開催する。

(1)建築士事務所の管理講習会・開設者研修会　2回
(2)管理建築士資格講習　1回
(3)建築士定期講習　2回
(4)明日を創る建築講座　1回
(5)スキルアップセミナー　1回
(6)その他　講習会　随時

6.広く県内建築士事務所の業務の改善・向上に資するための事業を推進する。

(1)茨城県よりの委託事業
・平成30年度建築行政指導委託業務
建築基準法及び建築士法などの建築関係法令の改正等に係る情報の周知及び設計等の業務に関する報告書の提出及び定期講習受講の案内を、茨城県内の建築士事務所に配布
・平成30年度住宅耐震･リフォームアドバイザー養成事業業務委託
「住宅耐震･リフォームアドバイザー」を養成するための講習会の開催
(2)国土交通省告示第15号
(建築設計・工事監理業務報酬基準)の普及の要望
(3)建築設計・工事監理業務報酬基準の調査
(4)公共団体からの設計委託業務に関する実態調査等
(5)茨城標準単価表の作成
(6)建築士事務所登録更新該当者への通知
(7)賛助会員業務との関わりを考える集い実施
(8)新規事業開発のための調査研究
(9)リフォームアドバイザー派遣事業の実施
(10)業務書式、図書等の販売

7.建築士事務所の業務の円滑化及び建築技術の向上に役立つ各種情報や資料を収集し、提供する。

(1)業務報酬算定基準の作成・公開

8.広く県内に本協会活動をPRするとともに会員相互の情報交換を行う。

(1)会報茨城の発行
(2)県民ユーザーへの新聞広報等
(3)建築士事務所キャンペーン
(4)ホームページの作成・更新

9.会員相互の親睦及び福利厚生のための事業を行う。

(1)懇親会の開催
・総会懇親会
・賛助会員との懇親会(合同納涼会)
・年末懇親会
(2)親睦ゴルフ大会の開催
(3)同好会の支援(ゴルフ)
(4)建築視察研修の開催
(5)福利厚生事業の普及・促進

10.会員の増強を図るための運動を行う。

11.指定事務所登録機関の業務を行う。

12.その他県内建築士事務所の建築設計・工事監理業務の発展に寄与するための事業を行う。

平成30年度 通常総会 会員増強表彰者一覧

(有)ムーブ建築設計事務所	渡辺 章夫	小薬建設設計事務所	小薬 拓巳
(株)玄設計一級建築士事務所	小沼 隆志	M'sBOX建築設計事務所	沼田 弘次
軽部建築設計事務所	軽部 守彦		

平成30年度 通常総会 永年会員表彰社一覧

【正会員】 ASD建築設計室
野口建築設計事務所
(株)村上工務店一級建築士事務所

【賛助会員】 根本電興(株)

平成30･31年度 名誉会員・相談役・役員一覧

名誉会長	柴　和伸	(株)柴建築設計事務所
	横須賀　満夫	(株)横須賀満夫建築設計事務所
相談役	羽石　英夫	(株)羽石英夫建築設計事務所
	山田　博通	(株)桜設計事務所
会長	舟幡　健	(株)パル綜合設計
副会長	田中　健一	(株)中建築設計事務所
	青山　立美	(株)青山建築設計事務所
	増山　栄	(株)増山栄建築設計事務所
専務理事	打越　信久	(一社)茨城県建築士事務所協会
常務理事	小室　晶	(有)汎連合設計
	小沼　隆志	(株)玄設計一級建築士事務所
	渡辺　章夫	(有)ムーブ建築設計事務所
	大内　賢一	(株)第一設計
	根本　洋一朗	(株)根本建築設計事務所
	相澤　晴夫	(株)相澤建築設計事務所
	河野　正博	(株)河野正博建築設計事務所
理事	和田　邦裕	和田建築設計事務所
	小川　憲一	(株)戸頃建築設計事務所
	久野　正行	久野建築設計室
	坪和　昭男	坪和建築設計事務所
	高槻　一雄	(有)高槻建築設計事務所
理事	小坏　真司	(同)建築工房Koakutsu
	軽部　守彦	軽部建築設計事務所
	宮本　久	(有)宮本建築アトリエ
	金澤　重雄	(有)カナザワ建築設計事務所
	富田　清一	セイショウ建築事務所
	藤井　耕市	(株)藤井設計
	塙　秀之	(有)コウシュウ設計
	上久保　博隆	(株)匠建築研究室
	清水　義幸	(株)清水構造設計
	斉藤　章	(株)エス・ディ・フレックス
	小薬　拓巳	小薬建築設計事務所
	沼田　弘次	M'sBOX建築設計事務所
	石川　啓司	一級建築士事務所(株)石川建築研究所
	若柳　綾子	(株)若柳建築事務所
	鎌田　富士夫	鎌田建築アトリエ
	大山　早嗣	(株)大山都市建築設計
監事	金沢　悦男	金沢建築設計事務所
	清水　忠	(有)清水忠建築設計事務所
	水口　二良	水口･野村法律事務所

●第4回茨城学生建築展
日 時／平成30年2月22日(木)～25日(日)
会 場／笠間の家
報 告／総務委員会委員長　井坂 光宏

報告

第4回「茨城学生建築展」が開催されました

【協賛企業各社】
株式会社山忠・株式会社フジクリーン茨城・総合資格学院 つくば校
日建学院 水戸校 つくば校・ＹＫＫＡＰ株式会社・株式会社ＬＩＸＩＬ 茨城支店
株式会社日立ビルシステム 茨城支店・和知商事株式会社・株式会社奈良屋
センター電機株式会社・株式会社角藤 水戸支店

「第４回茨城学生建築展」が平成30年２月22日から25日の４日間、笠間市の「笠間の家」を会場に開催されました。開催時期については今年も各学校の意向を調査し、高校生の卒業式に間に合うように２月に開催することを決定し準備を進めました。

笠間市の全面協力のもと、茨城県内の建築関連の学科を専攻する大学・専門学校・高校の生徒を対象として作品を募集したところ、去年とほぼ同数の９校から30作品が集まりました。

審査委員には、笠間市長、茨城県建築士事務所協会会長、建築士会会長、ＪＩＡ茨城地域会会長、茨城県建築センター長の５名にお願いをし、作品を見た後、審査会において各賞を選出していただきました。

全４日間の展示期間と表彰式で学生や父兄、協会会員や地域の方々など、来場者は１００名を数えました。また、今年も協会賛助会の多くの企業から協賛をいただき、充実した内容の事業が行えたことに大変感謝しています。

今年も去年同様、審査を初日に行い、受賞者に通知をして表彰者全員に表彰式に参加してもらうことができました。

これからも多くの学校の参加と、多くの優秀な作品が集まるよう今後とも努力し、次回の開催も成功に繋げていきたいと思います。

茨城県建築士事務所協会賞

「New monnjya story ～つきしまちねっと～」

筑波研究学園専門学校
田中 陽介さん
長妻 真生子さん
盛田 皓介さん
吉成 龍之介さん

笠間市長賞

「神田スクエア
都心における駅上広場の構想と
赤レンガ高架橋の保存活用」

筑波大学
安喜 祐真さん

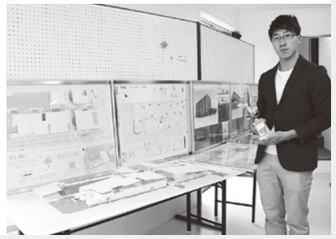
JIA茨城賞

「GREEN-DO ～Flowing from Koisago」

筑波研究学園専門学校
三浦 一真さん
長野 大地さん
根藤 さやかさん

茨城県建築士会賞

「地域のコミュニティの中心となる
保育園・コミュニティセンター
新潟県立聾学校・移転跡地利用計画」



筑波技術大学
石山 裕貴さん

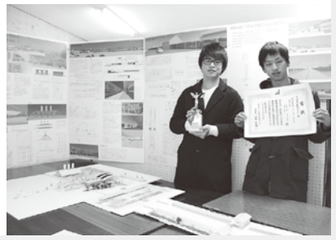
茨城新聞社賞

「全天空」

つくば工科高等学校
柴崎 日陽凜さん

茨城県建築センター賞

「常陸大宮 ～日々の暮らしに変化を～」



茨城大学
斎藤 司さん
坂下 雅紀さん
岸本 和樹さん

奨励賞

［ 日建学院 水戸校 つくば校 ］
「100年後へ向けて」
水戸工業高等学校
鈴木 翔さん

［ 総合資格学院 ］
「英を知る、学ぶ」
文化デザイナー学院
小野 大輔さん

［（株）フジクリーン茨城］
「伝わり広がる」
文化デザイナー学院
天野 将親さん

［（株）山忠］
「伝統工芸を紡ぐ明るい
土間のあるゲストハウス」
茨城大学大学院
川勝 美佳さん

理事会・委員会だより

Board of directors and committee Lay

2018.July

理事会だより

平成30年2月28日(水)
- ●各委員会の活動状況報告
- ●日事連会議等報告
- ●収支仮決算について
- ●平成30年度事業計画・予算案について
- ●会員増強について
- ●新入会員の承認について
- ●その他

平成30年4月25日(水)
- ●各委員会の活動状況報告
- ●日事連会議等報告
- ●平成29年度事業報告・収支決算について
- ●監査報告
- ●平成30年度事業計画・予算案について
- ●平成30年度通常総会について
- ●会員増強について
- ●新入会員の承認について
- ●公益目的支出計画について
- ●その他

委員会だより

【総務委員会】委員長　井坂 光宏

1 第4回茨城学生建築展

県内における建築関連学校の学生による作品を対象とした「第4回茨城学生建築展」が2月22～25日にかけて、笠間市の「笠間の家」で開催されました。23日に審査会を行い、応募作品30点の中から茨城県建築士事務所協会賞、建築士会賞、笠間市長賞など6賞に10作品を選出し、25日に笠間工芸の丘にて表彰を執り行いました。

「茨城学生建築展」は県内の建築系学科を有する各学校（高校・専門学校・大学）と連携して、学生の優秀作品を表彰しエールを送りつつ、さらに学生たちの交流を深めようとするものです。今回は茨城大学、筑波大学、筑波技術大学、筑波研究学園専門学校、日建工科専門学校、専門学校文化デザイナー学院、県立下館工業高等学校、県立つくば工科高等学校、県立水戸工業高等学校の9校から作品の応募がありました。

第3回より若干応募作品が減りましたが、笠間市や関連団体の協力のもと、無事開催する事が出来ました。来年も同時期に「第5回茨城学生建築展」を開催する予定ですので、ぜひ会場に足を運んで、学生たちの力作を見ていただければと思います。

2 第31回茨城建築文化賞

第31回茨城建築文化賞の応募総数は35件でした。昨今の建設事情により案件が少ないと思われる中、多くの会員の皆様よりご応募いただき、誠にありがとうございました。

3月19日に書類と写真による一次審査を行い、上位6作品が選ばれ、4月21日に各作品の現地を視察したのち、二次審査を行いました。結果は新聞紙上にて取り上げられ、受賞者の表彰は先日の通常総会にて執り行われました。なお受賞作品の詳細は今号に掲載されていますので、ご覧ください。

【企画委員会】委員長　橋本 照雄

1 長期的計画立案

本年度より協会の運営に繋がる事業として活動しております。

2 住宅相談

毎月第1・第3土曜日に住宅相談を水戸とつくばの建築センター内で行っていますが、今年度も県からの依頼により、他、地域数か所でも住宅相談会が開催される予定です。

3 賛助会との意見交換会

本年度も賛助会との意見交換会を実施します。

4 若手建築家育成事業

若手建築家の育成事業として、JAなめがた・家族葬ホールの建築設計プロポーザルコンペを進めています。次号には審査内容の詳細が報告できますのでご期待ください。

5 その他、県及び建築センターとの協力事業として、リフォームアドバイザー派遣及び養成事業も実施いたします。

【会員委員会】委員長　和田 淳一

1 会員増強

会員増強に関し会員皆様からご協力をいただきありがとうございます。お陰様で入会に関し、ある程度の人数を維持しております。しかし残念ながら高齢化による退会者が増加しており、全体ではマイナスとなっております。委員会では新たな入会勧誘手法をいくつか考え、実行、提案していく考えでおります。ご協力の程よろしくお願いいたします。

2 賛助会総会及び建築士会との合同納涼会

7月27日(金)ホテル テラスザガーデン水戸にて予定しております。本年度は役員改正を予定しております。講演会は2019年に予定されております茨城国体に関しご講演をいただく予定です。どのようなお話が聞けるか楽しみです。

大納涼会は例年通り建築士会と合同で行われ、友好団体の関係者に、ご出席頂きにぎやかに開催される予定です。

3 会員親睦ゴルフ大会

9月20日(木)富士カントリー笠間倶楽部で例年のように開催されます。

賛助会と正会員の交流の機会として意義のあるイベントですので皆様に喜んでいただいています。残暑が多少心配ですが、汗を流してストレス解消していただければと思います。

4 年末懇親会

12月7日(金)三の丸ホテルにて開催予定です。毎年多くの方にご参加のもと楽しい時間をお過ごしいただいております。今年も多くの来賓の方々、賛助会、正会員、皆様でご交流、懇親を深めていただければと思います。ラッキーカードもできるだけ喜んでいただけるものをご用意させていただきたく考えております。

【広報委員会】委員長　中﨑 妙子

広報委員会は、建築設計監理業務の果たす社会的役割の啓蒙、宣伝、会報誌の編集発行広報に関する事項等の担当委員会です。今期から会報「茨城」を年に3回発行いたします。旬な話題をお届けする予定です。今年度の活動予定について紹介します。

1 会報「茨城」の発行

会報「茨城」67号（総会号）

今回お届けした会報誌です。カラーページの特集では第31回茨城建築文化賞は受賞作品の全容を紹介しております。その他、第4回茨城建築学生展などを掲載しています。

●会報「茨城」68号（10月号）

今期から新たに発行する会報誌です（平成30年10月の発行予定）。首長インタビュー、賛助会総会、明日を創る建築講座等の報告を掲載する予定です。賛助会の皆様にPR等でご協力いただく予定です。

●会報「茨城」69号（新年号）

平成31年1月の発行予定です。建築視察研修旅行、年末懇親会、親睦ゴルフ大会、建築士事務所キャンペーン等の報告を掲載する予定です。

今後もさらに充実した誌面を目指していきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。取り上げてほしい記事等がありましたら、広報委員会までご連絡をお願いいたします。

2 建築士事務所キャンペーン

昨年と同様に、建築士会・建築センターとともに、今秋開催予定の建設フェスタ会場にてキャンペーンを行う予定です。建築士事務所を一般消費者により広くPRできるよう、内容をさらに充実させ展開する予定です。

3 会員住宅写真展

会員事務所のPRに役立てていただければと考え、会員の皆様から寄せられた住宅写真パネルを、キャンペーン等にて展示します。昨年度は応募数が少なかったこともあり、今年度は多くの方から作品を募集します。応募要項については改めて送付します。

4 インターネットを使った広報活動

会報「茨城」とともに協会の情報を発信しているホームページです。講習会情報や時事情報など会員にはもちろん、会員以外の建築士事務所にも有益な情報を発信しています。会員向けのページにおいても、委員会議事録の閲覧、事務所登録情報の更新などができるようになっています。最新情報をお届けするにはEメールアドレスが必須となりますので、未登録の方は是非登録願います。

【業務委員会】委員長　稲沼 修二

1 適正な報酬額での契約に向けて

適正な設計料、工事監理料を算定するために設けられた告示が採用され、適正な予定価格による入札が行われる発注機関が増えてきています。しかし、応札者側では、過度な価格競争による低価格入札が増えており、予定価格の半分以下という応札も見られるようになってしまいました。この状況では、建築士を守るために制定された告示を、建築士自身が意味のないものにしてしまいます。業務料の低価格化は、個々の設計事務所の問題だけではなく、建築設計業界全体の疲弊へとつながる大きな問題です。委員会としては、適正な契約額による適正な業務が遂行できるよう、発注機関に対して、「低入札価格調査基準」や「最低制限価格」を採用していただくために活動しています。会員の皆様もご協力いただけるようお願いいたします。

2 各種業務報酬算定基準をホームページに掲載しています。

会員の皆様が、業務料算定を行う際に参考にしていただけるよう、各種業務報酬算定基準をホームページに掲載しています。是非ご利用いただき、適正な報酬額算定の参考にして下さい。

また、「解体設計業務料に関するアンケート」についても、集計表を各種算定基準とともに掲載しています。参考にして下さい。しかし、アンケートの目的としている、解体工事実施設計業務料の算定方法を作成するには、データ量が足りていません。引き続き、御協力をお願い致します。解体設計を受注した際は、事務局までご連絡下さい。情報提供シートをお送りします。

3 講習会等

例年、意匠設計者のための構造系講習会等を中心に講習会を開催しています。委員会では、次回講習会に向け、会員の皆様のお役にたてるような講習内容を検討しておりますので、講習内容について、ご意見、ご要望等がありましたらご連絡ください。

【研修委員会】委員長　本澤 幸一

研修委員会は、会員事務所の資質向上に寄与するため、各種講習会と研修事業を企画開催しています。

今年度の事業予定をお知らせいたします。

1 第1回知事指定管理講習会

平成30年7月19日(木)
茨城県建設技術研修センター

第2回知事指定管理講習会

平成31年1月16日(水)

土浦市 ホテルマロウド筑波

2 明日を創る建築講座
平成30年8月25日(土)予定

3 第3期建築士定期講習会
平成30年11月27日(火)
茨城県建設技術研修センター

第4期建築士定期講習会
平成31年2月26日(火)
茨城県建設技術研修センター

4 スキルアップセミナー
平成31年2月頃

5 建築視察研修旅行
平成30年11月中旬等を予定しております。是非ご参加ください。

【景観まちづくり委員会】

委員長　浅野 祐一郎

1 常総市を拠点として

一昨年から平成27年9月に水害により甚大な被害を受けた常総市で、新しいまちづくりについて何が出来るか模索してまいりました。昨年度は現地視察、常総市担当者とのヒアリングなど意見交換を行いました。本年度も引き続き具体的な提案に向けてのワーキングを行っていく予定です。まちづくりとは非常に難しい取り組みではありますが、ひとつでも実現できるよう模索していければと考えております。

2 大洗町での取り組みについて

大洗町でのまちづくりについては、数年前から現地視察や町に対するヒアリングをおこない取り組んでまいりました。その過程で昨年は「大洗駅前基本構想会議」が開催されることとなり、前委員長である藤井理事が招聘され会議に参加。大洗町長をはじめ行政担当者、有識者との意見交換会は有意義なものとなりました。今後、大洗町への新たな活動については未定ですが、町から要請があれば参加し、協力していきたいと考えております。

3 まちの景観と空き家対策について

少子高齢化や人口減少といった社会現象に伴って、全国的に空き家等が増加しています。そのような中適切に管理が行われていない空き家等が防災面、衛生面、景観面で地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼし社会問題となっています。こうした問題に取り組むために、国においては平成27年5月に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されました。また、今年の5月には国交省より全国の空き家対策を一層加速化させるため「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」の募集が行われ担い手を支援する制度が発表されました。我々としても空き家が増加し、まちの景観が崩れていくことを傍観しているわけにはいきません。今後の新たな活動として「まちの景観と空き家対策」に取り組み、積極的な空き家の利活用などアイデアを出し合い、実現化に向けて活動していきたいと考えております。

Aoyama Architect
株式会社青山建築設計事務所

〒305-0033
茨城県つくば市東新井14-3 シバハシビル4階
TEL 029-851-7430㈹　FAX 029-851-7600
E-mail：info@aoyama-arc.jp
URL：www.aoyama-arc.jp

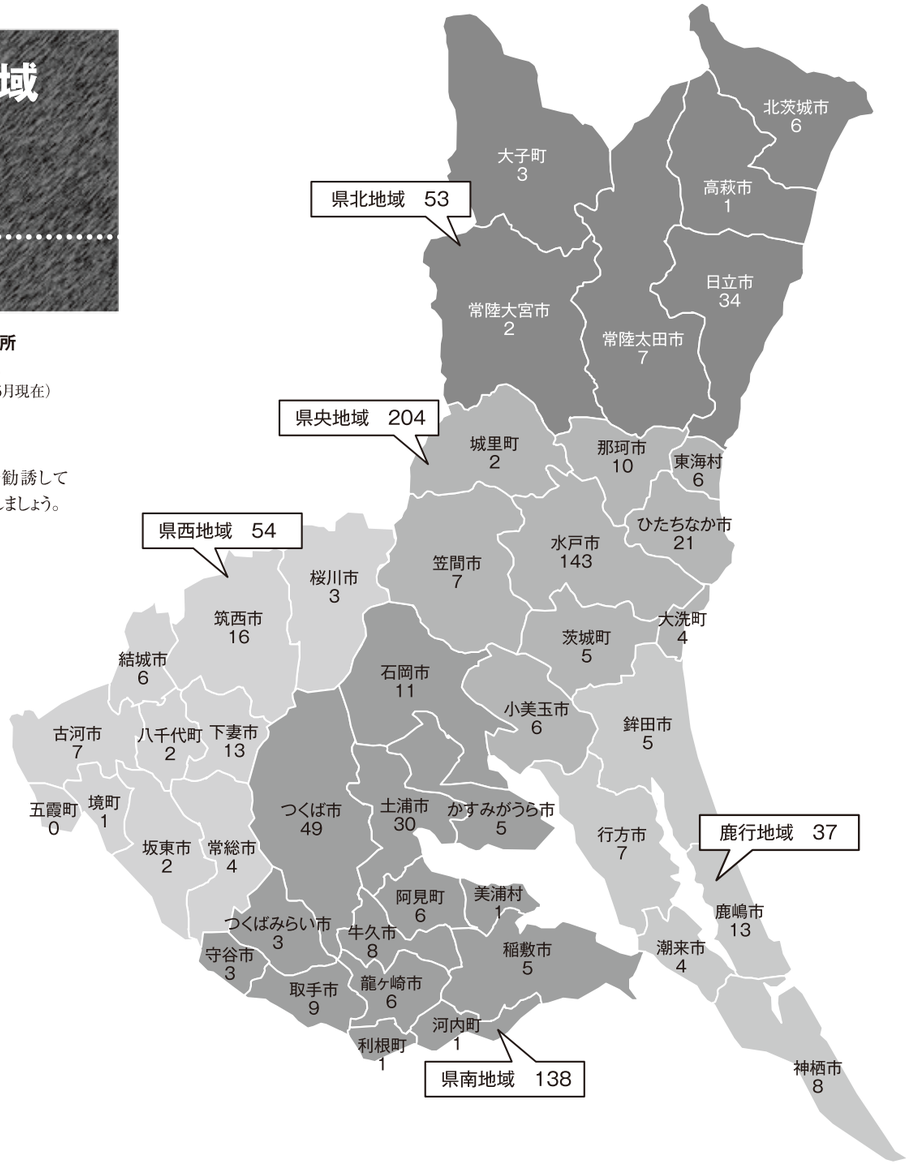
会員地域一覧

Editors Voice

2018.July

●正会員　486事務所
●賛助会員　157社
計 643（平成30年5月現在）

入会案内書
未加入事務所の方を勧誘していただき、仲間を増やしましょう。



建築のプロフェッショナルとして、可能性を拡げるために――。
私たちと一緒に活動しませんか?

約500の建築士事務所（正会員）と約150の関連企業（賛助会員）が、あなたの参加を待っています!

1 地域に貢献する
2 最高の仲間をつくる
3 建築士に必要な最新の知を取得する
そして挑戦する

入会のお誘い

一般社団法人茨城県建築士事務所協会は、建築士事務所の業務の適性な運営を確保するとともに、建築設計・工事監理業務の進歩改善と品位の保持向上、及び設計等を委託する建築主の利益の保護を図り、建築文化の向上と発展に努め、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とした一般社団法人です。

新会員紹介

New member introduction

2018.July

賛助会員

日新製鋼建材株式会社
畠山 貴裕
〒135-0016
東京都江東区東陽3-23-22
tel.03-5635-6136

賛助会員

株式会社 新栄電気通信工業
庄司 泰世
〒310-0836
水戸市元吉田町876番地の13
tel.029-248-0213

賛助会員

笠井編集室
笠井 峰子
〒310-0852
水戸市笠原町600-17
朝日ビル206 平井情報デザイン室内
tel.090-4062-8661

賛助会員

横建工業株式会社
桑原 昌志
〒312-0044
ひたちなか市元町2番8号
tel.029-272-2341

正会員

有限会社 エス・プランナー
鈴木 壮一郎
〒311-1136
水戸市東前1丁目415
tel.029-240-5513

正会員

DKプランニング
大内 久美
〒312-0011
ひたちなか市中根六ツ野4817-13
tel.029-274-4658

正会員

塙建築設計室
塙 和之
〒310-0851
水戸市千波町1663-11
tel.029-350-3230

正会員

明治測量設計株式会社
大関 竜太郎
〒319-0315
水戸市内原町907番地7
tel.029-259-2824

正会員

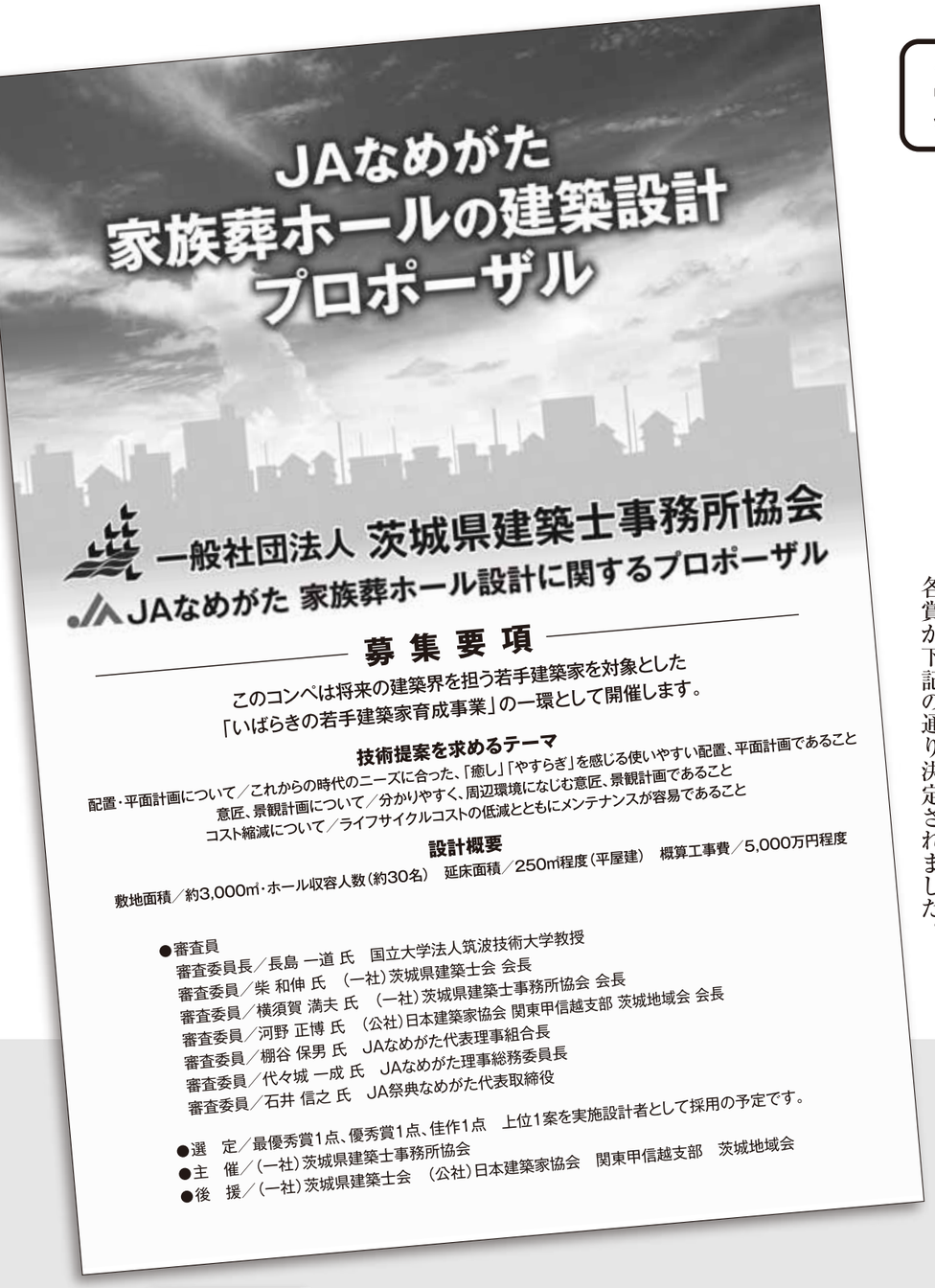
加藤雅史建築設計事務所
加藤 雅史
〒317-0055
日立市宮田町4-3-12
tel.070-1489-5589

随時、新会員を募集しております。
皆さまよろしくお願いいたします。

速報

「JAなめがた家族葬ホールの建築設計プロポーザル」の審査結果

平成30年5月28日に行いました、「JAなめがた家族葬ホールの建築設計プロポーザル」の審査会において、各賞が下記の通り決定されました。



JAなめがた
家族葬ホールの建築設計
プロポーザル

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
JAなめがた 家族葬ホール設計に関するプロポーザル

募集要項

このコンペは将来の建築界を担う若手建築家を対象とした
「いばらきの若手建築家育成事業」の一環として開催します。

技術提案を求めるテーマ
配置・平面計画について／これからの時代のニーズに合った、「癒し」「やすらぎ」を感じる使いやすい配置、平面計画であること
意匠、景観計画について／分かりやすく、周辺環境になじむ意匠、景観計画であること
コスト縮減について／ライフサイクルコストの低減とともにメンテナンスが容易であること

設計概要
敷地面積／約3,000㎡・ホール収容人数（約30名）　延床面積／250㎡程度（平屋建）　概算工事費／5,000万円程度

●審査員
審査委員長／長島 一道 氏　国立大学法人筑波技術大学教授
審査委員／柴 和伸 氏　（一社）茨城県建築士会 会長
審査委員／横須賀 満夫 氏　（一社）茨城県建築士事務所協会 会長
審査委員／河野 正博 氏　（公社）日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会 会長
審査委員／棚谷 保男 氏　JAなめがた代表理事組合長
審査委員／代々城 一成 氏　JAなめがた理事総務委員長
審査委員／石井 信之 氏　JA祭典なめがた代表取締役

●選　定／最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作1点　上位1案を実施設計者として採用の予定です。
●主　催／（一社）茨城県建築士事務所協会
●後　援／（一社）茨城県建築士会　（公社）日本建築家協会　関東甲信越支部　茨城地域会

最優秀賞　**株式会社 早川建築事務所**（水戸市）

優秀賞　**株式会社 andHAND 建築設計事務所**（つくば市）

佳作　**有限会社 本澤幸一建築設計室**（行方市）

結果の詳しい内容につきましては次号で報告いたします。

第31回 茨城建築文化賞

茨城県知事賞［最優秀賞］流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス2号館
●清水建設株式会社 一級建築士事務所

第31回茨城建築文化賞　住宅部門優秀賞　宇佐見邸

MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO. , LTD.
㈱横須賀満夫建築設計事務所

本　　社 ／ 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル　〒310-0021
TEL.029（225）4353　FAX.029（225）1794
東 京 支 店 ／ 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキキョウ101号室　〒166-0011
TEL･FAX.03（5378）6617
つくば営業所 ／ つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202　〒300-1252
TEL.029（896）3978　FAX.029（896）3968
ＵＲＬ　http://www.design-yokosuka.co.jp　E-mail　yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp

第31回 茨城建築文化賞

茨城県知事賞［最優秀賞］

流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス2号館

●清水建設株式会社 一級建築士事務所
住所／東京都中央区京橋2丁目16-1　電話／03-3561-1343
●建物所在地／茨城県龍ヶ崎市平畑120
●建物用途／大学　●構造／RC造一部S造
●建築面積／2,111.67㎡　●延床面積／4,772.00㎡

近年の学習方法や生活スタイルに対応できる新たな大学のシンボルとして

本計画では50周年事業の記念校舎として新たな大学のシンボルを創出すること、近年の変化する学習方法や生活スタイルに対応する建物が求められた。

新2号館は周辺の敷地形状や環境を建物に取り込み、大きな屋根の下であたかも外部にいるようなコミュニティプラザを配置することで学生の交流が外からも感じられる新しいプラットホームとすることを目指した。既存図書館とつながるコミュニティプラザにはラーニングコモンズを配置し、図書館の活性化にも配慮した計画としている。

講義室は柱梁アウトフレーム構法とPC床版による彫の深いグリッド形状を特徴としている。縦横の庇効果により居住域の日射抑制と工期短縮と講義室の無梁化が可能となった。

講義室の空調は粘性流体が壁面に沿って流れる「コアンダ効果」に着目し、リブ付PC版と天井隠蔽型室内機により低速で空調空気を搬送し、ドラフト感と温度むらを抑えることを試みた。

茨城県議会議長賞［優秀賞］

土浦協同病院附属看護専門学校

●株式会社 河野正博建築設計事務所
住所／茨城県つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510　電話／029-861-8847
●協力事務所 構造／株式会社 構造計画プラス・ワン　電気・機械／有限会社 知久設備計画研究所
●建物所在地／茨城県土浦市おおつ野2丁目2番10号
●建物用途／看護専門学校　●構造／RC造一部S造
●建築面積／4,058.39㎡　●延床面積／7,595.91㎡

未来の医療現場へ力強く羽ばたく場所

豊かな自然に囲まれた新都心・おおつ野ヒルズ。本校は国内でも高度な医療・看護技術を誇る土浦協同病院の移転を機に併設された。

学生を迎え入れる「エントランスゲート」は高い正面性を持ち、ゲート下部に創出した「ガラスのブリッジ」は施設内の回遊性を高め、同時に都市に対する学内のアクティビティ開示装置として機能する。

ゲート先に広がる「交流広場」は学年を超えた〝心の交流〟を図る場所である。この広場を囲むように、1階に教室や図書室、2～3階に実習室を配置。柔らかな光が差し込む教室からは広場で談笑する学生の姿、また、各階に設けた3層吹き抜けの「コミュニティーラウンジ」では、上級生が厳しい実習を終えた下級生に優しく声を掛ける姿を見ることができる。

全国的に医師・看護師不足が叫ばれている今、本校が果たす役割は非常に大きい。この場所から、未来の医療現場を支える看護師が大きな夢を抱き、力強く羽ばたく姿を期待したい。

茨城県土木部長賞［優秀賞］

木漏れ日トイレ

●株式会社 andHAND 建築設計事務所
住所／茨城県つくば市東新井16-2　電話／029-855-3055
●協力事務所　構造／株式会社 三上建築事務所　電気／前川プランニング　機械／株式会社 菊地設備設計事務所
●建物所在地／茨城県ひたちなか市大字佐和字孫目東2197-28他252筆
●建物用途／公衆トイレ　●構造／鉄骨造　●建築面積／69.42+48.79㎡　●延床面積／39.09+33.43㎡

今まで体験したことのないような爽快感と清々しさを実現

便器に座ると、三角の木の天井とその脇から差し込む光が、利用者を包みこむ。そこには、今まで体験したことのないような爽快感と清々しさが溢れている。そんなトイレを実現しようと考えました。

木立である鉄骨の柱がブースを仕切り、コンクリートとガラスのブロックを積み上げることにより境界を作り、技となる天井を県産材の杉板で仕上げることにより、簡素な材料を使いながらも、屋根となる浮いた樹冠の屋根下で自然を感じることのできるトイレを実現しています。

第31回 茨城建築文化賞

茨城新聞社賞［優秀賞］

ケアステーション梅寿園

●株式会社 ヤマト建築設計事務所
住所／茨城県水戸市千波町1370-4　電話／029-241-3317
●協力事務所　構造／株式会社 エス・ディ・フレックス　電気／磯電　機械／曉飯島工業株式会社
●建物所在地／茨城県水戸市見川町1820-9、10　●建物用途／特別養護老人ホーム
●構造／鉄筋コンクリート造　●建築面積／3,338.65㎡　●延床面積／4,608.88㎡

単調な生活にならないよう工夫した過ごしやすい室内環境

大きなヴォリュームの施設ではありますが、ファサードは住居の延長線上にある施設として切妻日本瓦葺きで高さを抑え、存在を和らげる要因の一つとなっています。また、外壁や塀を木板張りとして近隣住環境に溶け込ませました。

居住室は、四季の移ろいが感じられるように窓の腰高を低く設定し、寝たきりや車イス生活でも屋外の景色が見渡せるようにしました。また、中庭は採光・通風ルートとして機能し、木々や水場は、実りや小鳥・虫を呼び寄せ、施設内に居ながら単調な生活にならないよう工夫しました。内部空間は、床、腰壁、肩など身近な部分に木材を使用し、木の温もりに触れられるようにしました。壁は珪藻土装を多用し、空気の浄化や脱臭・調湿効果があり、室内住環境は過ごしやすい空気の状態を保っています。各住戸ユニットは仕上材や建具デザインに変化をつけ、各々のユニットに個性を持たせて認知機能の低下に対応する工夫をしました。

[住宅部門優秀賞] 筑西の住宅

●株式会社 伊藤暁建築設計事務所　住所／東京都品川区小山4-7-15 石神ビル2階　電話／03-6421-5312
●協力事務所　構造／株式会社 山田憲明構造設計事務所
●建物所在地／茨城県筑西市　●建物用途／専用住宅　●構造／木造　●建築面積／104.26㎡　●延床面積／129.03㎡

連綿と続く時間の流れと人間の営みの接点として現れる建築のかたち

建主の生家の一角に建っていた古蔵を解体・移築し、新たな土地に住宅として新築する計画。

蔵と住居、留意すべきその違いの一つはその開放性だろう。ゴットフリート・ゼンパーは、建設技術を「かたまり的」と「骨組み的」に分類しているが、山本学治はこの違いを「囲い」と「覆い」と解説している。これによると今回は、「囲い」である蔵を「覆い」である住居として再構成するということになる。

計画地は四周に線路（西）、隣家（北）、道路（東）、畑（南・敷地内）を持つ。これらの外部要因に合わせ、「覆い」としての境界を計画した。外土間、内土間を設けて段階的に外部を引き込み、南側に下屋を増設して内部を引き出し、境界を複層化する。西側には水回り等を配し、東側は鉄製のルーバーで視線を調整する。室内は建具類で段階的に領域を作り、温熱環境やプライバシーに配慮した計画とした。こうして出来上がった建物は、連綿と続く時間の流れと人間の営みの接点として現れる、ある必然性を伴った建築のかたちなのだと考えている。

[住宅部門優秀賞] 宇佐見邸

●株式会社 横須賀満夫建築設計事務所　住所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル　電話／029-225-4353
●協力事務所　電気／川又設備計画　機械／株式会社 菊地設備設計事務所
●建物所在地／茨城県那珂市　●建物用途／一戸建ての住宅　●構造／木造　●建築面積／309.33㎡　●延床面積／303.15㎡

家族のライフスタイル変化に対応したつくり

本住宅は、高齢になっても不便のない生活、子供の成長に合わせた部屋などの要望をかなえた多世代住宅です。将来を見据えて、家族のライフスタイルの変化に対応したつくりとしています。家の中心にはＬＤＫを配置し、家族が集まる場所をつくりました。２階ホールと一体となった吹き抜けを有し、大きく設けた開口部からの柔らかな光が心地よい空間です。ここから各居室や客間、オフィス、テラスへと繋がり、どこにいても家族の気配を感じられる動線となっています。

外壁とテラスはレンガタイル張りにし、重圧感と高級感のある仕上げとしました。

空調には地中（約10～15ｍ以深）の温度が年中一定であることを利用して地中から熱源を採取する地中熱ヒートポンプユニットを採用し、省エネに配慮しました。夏は冷水からの熱交換の涼風で体が冷えすぎない快適な冷房空間となり、冬は床から部屋を暖め、ひだまりのような心地よい暖房感を実現しています。

[住宅部門最優秀賞] 土浦の家

●岩瀬卓也建築設計事務所
住所／茨城県常陸太田市稲木町866番地　電話／0294-72-6121
●建物所在地／茨城県土浦市　●建物用途／住宅
●構造／木造　●建築面積／97.36㎡　●延床面積／89.43㎡

幼少期の追想から終の住処へ

土浦の家は、10年程の週末滞在を経て終の住処として使用する予定があり、故郷で晴耕雨読の生活を望む建主の為につくられた。雨水利用を促す切妻屋根や深い軒の出、そして土間の効能によって、自然を身近に感じられる家を目指している。また、この家の棟木には建主家族と一緒に採取した桧丸太を使用し、土間には地元の真砂土を使用した三和土仕上げを採用している。棟木を見上げ空間に産地の山林風景を広げ、この地域の土でたたいた土間を踏み幼少期を追想する。

こうした建主にとっての新旧の記憶と、今後の生活や出来事が重なり合い、この家が家族にとってより親密な居場所となる事を望む。

雨の日は筆を執りつつ、天水桶に伝い落ちる雨音に耳を傾ける。日暮れがた軒先からの日差しの変化に目をやり、食卓には畑で育てた食材が並ぶ。夜、桧風呂に張ったお湯でその芳香が膨らみ、土間で揺らめく薪ストーブの火を囲む。この家が、自然と共にある生活の器として機能する事を願っている。

［入選］グループホームあんずの里

●株式会社 中山大輔建築設計事務所　住所／栃木県宇都宮市インターパーク3-3-7-603　電話／028-902-8353
●協力事務所　構造／小林建築構造設計室
●建物所在地／茨城県筑西市茂田1790-1　●建物用途／老人福祉施設等　●構造／木造　●建築面積／594.53㎡　●延床面積／446.98㎡

木の特性を活かした自由でやわらかな空間

施設建築において内装制限のある中で、在来工法によって全体を構成した上でいかに木の特性を活かした木質の空間を作るかが課題となった。そこで、どっしりとした杉の磨き丸太と華奢な部材で構成する曲線のやわらかな木製カーテンウォールを、意匠の要である中庭部分に楕円を描くよう配置した。

構造的・施工的に見て楕円形を生み出す事が難しい中、シンプルな片流れ屋根と先端にシート防水の下屋を出す事によって諸問題を解決している。また通常は軸組を曲げて曲線を生み出す事が殆どだが、今回は耐力壁を楕円以外の部分でまかない構造的にフリーにすることで、四角形から楕円形の中庭を生み出すことを可能にした。

程よく閉じられた中庭は居住者同士の適度な距離感と外と内を程よく結ぶ安心感をもたらし、住まう人の心地よさに繋がっている。

小規模木造施設でも上手く木を使いデザインする事によって、自由でやわらかな空間を生み出すことを可能にした。

［入選］友部地区地域交流センター

●株式会社 横須賀満夫建築設計事務所　住所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル　電話／029-225-4353
●協力事務所　構造／株式会社 エヌ・シー・エヌ一級建築士事務所　電気・機械／根本設備設計事務所
●建物所在地／茨城県笠間市友部駅前1-10　●建物用途／交流センター（集会場）　●構造／木造　●建築面積／1,612.32㎡　●延床面積／2,030.19㎡

「ハレの舞台」としてのしつらえと「日常性」を兼ね備えた施設

駅前広場と駅舎の一体感を持たせながら、お祭り等の催しに対応できる「ハレの舞台」としてのしつらえと、まちに暮らす人の生活を支える「日常性」をバランスよく兼ね備えた交流センターを提案しました。

計画から運営まで地域の人が深く関わるためにワークショップを行い、あらゆる「人」が気軽に集まり、交流の「場」へ成長し、「まち」の賑わいを育むきっかけを創出しました。

各室は単独でも一体でも利用できるよう可動間仕切りを採用し、配置を検討しました。形骸化されたものではなく、実用性のあるマルチホールは100名程収納可能で、可動間仕切りによってホール・動線・イベント広場等、様々な用途に合わせ形態を変えます。線路に面した「線路のテラス」から反対側の「まちのひろば」は、景観や視線の抜けを意識し配置することで内外空間が一体となり、活動の賑やかさがまちに溢れる施設となります。

［入選］笠間市立いなだこども園

●有限会社 長塚建築設計事務所　住所／茨城県古河市原町4番2号　電話／0280-22-2323
●協力事務所　構造／株式会社 シェルター　電気・機械／株式会社 服部設計
●建物所在地／茨城県笠間市稲田2151-1　●建物用途／幼保連携型認定こども園　●構造／木造　●建築面積／1,643.38㎡　●延床面積／1,368.39㎡

四季を体験できる温もりあふれる施設

山々を望む小高い丘の上の幼保連携型こども園。緑に囲まれた環境と美しい眺望を生かし、自然を感じられる空間を目指した。東西に伸びる50ｍのストリートは子供たちの社会生活の起点となり、異なる年代の出会いの場として計画。ハイサイドライトにより季節や時間で変化する光を感じられる空間とした。また、遊戯室からは、山々が眺望でき四季を視覚で感じられることで時の移り変わりを体験できる施設とした。保育室は環境の良い南側に配置、園庭と離すことで落ち着いた保育環境とし、3～5歳児は独立した室、0～2歳児は各保育室が連動できるようにゆるやかに仕切ることができる空間とした。

子供たちが初めて触れる建築は、大きな木の家のようなデザインとし、表しの木の構造体、杉板等を多用することで温かみのある家庭的な雰囲気を持たせました。また、地場産材である稲田石、笠間焼を使い地域への愛着も育て、将来親子共通の原風景となる建築を目指した。

［入選］One-Sake Warehouse

●Eureka + G ARCHITECTS STUDIO
住所／埼玉県さいたま市浦和区北浦和1-21-18-405　電話／048-831-6138
●建物所在地／茨城県つくば市研究学園3-19-1　●建物用途／物流倉庫、事務所、店舗
●構造／木造（一部鉄骨造）　●建築面積／318.8㎡　●延床面積／494.99㎡

住宅エリアと商業エリアの双方への調和のとれた立体的で活き活きとした景観

研究学園駅周辺のロードサイドに建つ、店舗販売とネット販売を行う酒店の計画。店舗・事務所・物流倉庫とからなる複合建築であり、店舗の商いと遠隔地の酒蔵・顧客とを結ぶ物流中継の場としての酒屋倉庫です。建築のボリュームを3つにずらして配置して、倉庫・オフィス・酒屋の機能を持たせました。

開発が進行中のエリアにおける、住宅エリアと商業エリアの境目に位置するため、商業・倉庫としてのボリューム感と、住宅的なスケール感や勾配屋根といった意匠を織り交ぜて、住宅エリアと商業エリアの双方への調和を図りました。

筑波山へと眺望が開かれたテラスは、交通量の多い歩道レベルから浮かぶようにして配置され、テラスで開かれる試飲会を地域へ開かれた風景、また立体的で活き活きとした景観に寄与することを意図しました。

［入選］

つくばどろんこ保育園

●スタジオ ア・ノード一級建築士事務所
住所／埼玉県朝霞市岡3-28-47　電話／048-299-7253
●協力事務所　構造／大賀建築構造事務所　電気／株式会社 サンコー技研　機械／エム.エム.プランニング
●建物所在地／茨城県つくば市下平塚845-1　●建物用途／認可保育所
●構造／木造　●建築面積／744.42㎡　●延床面積／693.41㎡

調和を意図した切妻屋根が雁行する外観

本施設は、開発著しいエリアから少し離れた古い集落のはずれに建つ、民設民営の認可保育園（定員90名）です。近隣集落には、余裕のある敷地の中に勾配屋根の家屋が散在し、うっそうとした雑木林や芝生の圃場に隣接する恵まれた立地です。

園舎は在来木造平屋建てで、外壁は黒く着色した杉板張りです。芝張りの起伏のある園庭に面して、2年ごとに区切られた3つの保育室を、園児たちの日々の生活の中心となる奥行きのある縁側をはさんで、ゆるく雁行させつつ並べています。

この雁行により保健室に不整形で凹凸のある壁面や畳スペースを発生させ、また部屋の中央にあえて柱を残し、園児たちが思いのままに「自分の居場所」を得られるような変化のある環境を目指しました。同じく雁行により、縁側や園庭にも「通路」と「たまり」などの変化を持たせています。

また、軒先を低く抑えた切妻屋根が雁行する外観は、隣接する集落とのスケールの調和を意図しています。

［入選］

水戸市医師会看護専門学校

●株式会社 三上建築事務所　住所／茨城県水戸市大町三丁目4番36号　電話／029-224-0606
●協力事務所　電気／前川プランニング　機械／NSAファシリティーデザイン室
●建物所在地／茨城県水戸市河和田町107番2　●建物用途／専修学校　●構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造　●建築面積／1,996.86㎡　●延床面積／3,143.85㎡

「うるおいあるキャンパス」としての環境整備

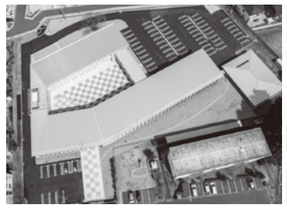
中庭を中心とした、人間性豊かなキャンパス

看護学校とは医療に関する知識と看護の技術を学び、看護師として患者に対するやさしさとともに人間の尊厳を学ぶ場所です。知識・技術を習得する学校としての機能の充足を図るとともに、人間的な感性や心を豊かにする「うるおいあるキャンパス」としての環境整備を目指しました。

建物は、学生たちの人格形成と感受性を豊かにするうえで最も重要な友人や先生たちとのふれあいを創出するために中庭を囲む2階建ての校舎としています。この中庭では日常的な学生たちの休憩、学生同士の交流、学生と教職員の交流の場として活用できる空間であると同時に、校舎内に視覚的な広がりを生み出します。

既存校舎を使用しながらの工事計画

一期工事では敷地内の既存校舎を使用しながら新校舎を建設しました。一期工事完成後既存校舎を解体し、二期工事で東棟と訪問看護ステーションを建設しました。仮設校舎を建てないことでコスト削減を図り、既存校舎解体跡地は中庭として有効に活用しています。



［リフォーム賞］

つくば市H邸

●住友林業ホームテック株式会社 つくば支店　住所／茨城県つくば市竹園1-6-1 つくば三井ビル16階　電話／029-850-3655
●建物所在地／茨城県つくば市　●建物用途／個人住宅　●構造／木造　●建築面積／196.34㎡　●延床面積／196.34㎡

堂々とした風格を継承しつつ自然素材を用いた安全で快適な住居へ

つくば市内の旧集落に建つ築200年を超える古民家の再生計画である。先代からこの家を引継いだ現当主である施主は、生まれ育ったこの家の堂々とした風格を継承しつつ、自然素材を用いた安全で快適な住居への改修を望んだ。事前調査では、茅葺屋根を支える丸太の小屋組みをはじめ、大黒柱やこの地域特有のお釜柱など主要部材は、十分再利用可能と判断された。そこで、丸太梁の上に新たな小屋組を架け、以前と同じ七寸勾配と深い軒を有する軽量の金属葺屋根とし、これに最新の耐震工法を組み合わせることで、大屋根の持つ風格を継承し安全性を確保した。生活様式に合わせ30坪減築したが、地域の集まりにも用いる二間続きの和室は再現し、建具も極力再利用した。かつての土間は、玄関位置を一間半移動し、玄関ホールとLDKとして再生した。力強い丸太梁を現しとし、杉無垢の床、珪藻土塗りの壁・天井など自然素材を用いて仕上げ、新たな生活の中心となった。

改修前の写真

［省エネ賞］

OFFICE F

●アーネストアーキテクツ株式会社　住所／東京都港区芝5-5-1 ラウンドクロス三田2階　電話／03-3769-4700
●協力事務所　構造／株式会社 テラ設計工房　電気／有限会社 ゆうでん　機械／有限会社 設備プラン
●建物所在地／茨城県行方市新宮745　●建物用途／事務所　●構造／鉄骨造　●建築面積／401.39㎡　●延床面積／821.53㎡

環境への配慮と最先端の技術の導入した社屋

政府提唱のZEB（ネット・エネルギー・ゼロ・ビルディング）達成に取組み、BELS評価による削減率108％を達成した社屋建替えのプロジェクトである。企業として環境に配慮するという社会的使命、最先端の技術の導入を図った。

省エネには外皮を断熱性能の高い壁で覆い開口部を少なくする事が良策であるが、働く環境の良質化を図る為、北浦に面する恵まれた環境を生かし大きくガラス面開放している。また内部仕切りも積極的にガラスを用い奥まで外光を導いている。ガラス面の断熱を高遮熱断熱複層ガラス、日射追従型電動ブラインドで補い、その他外壁、屋上は遮熱性能の高い材料で仕上げている。また室内においてはLED照明自動制御、井水熱利用ヒートポンプ式空調、全熱交換機換気を使用し徹底した省エネを図っている。創エネルギーについては屋上及び駐車場カーポート屋根に太陽光発電を設置。また蓄電池も設置して災害時の地域貢献に備えている。

※建築文化賞の表記は、申し込み時点のものとなります。

第31回 茨城建築文化賞

審査委員 ※敬称略・順不同・役職は平成30年3月現在

長島一道（国立大学法人筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科教授）／熊澤貴之（国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科准教授）／加藤研（国立大学法人筑波大学芸術系助教）／江原秀明（（一財）茨城県建築センター理事長）／小沼紀男（茨城県土木部都市局建築指導課課長）／柴和伸（（一社）茨城県建築士会会長）

茨城建築文化賞の講評

筑波技術大学 産業技術学部総合デザイン学科 教授 長島 一道

〈第一次審査の経緯〉

本年度は3月19日に審査委員6名が出席して第一次審査を実施した。今年の応募作品数は35作品で、住宅、小規模建築から大規模建築まで力作ぞろいであった。

第一次審査会場に展示された全作品を審査委員が点検確認した後、一人10票の持ち点で住宅、リフォーム、建築の大小を問わず第一回投票を行った。そこで2票以上を獲得した作品について審議を行い、一人5票の持ち点で第二回投票に移った。その結果、3票以上獲得した6作品を第二次審査（現地審査）対象作品（入選以上）とした。さらに議論を行い、それまでに2票以上獲得した住宅以外の作品4点を入選作品とした。

今回の現地審査対象6作品の中には住宅応募作品、リフォーム応募作品はなかった。そこで、一回目の投票で2票以上を獲得した住宅作品を対象に一人1票の持ち点で第3回投票を行い、得票数の多い順に住宅部門の最優秀賞1点、優秀賞2点を決めた。またこれまでの得票数2票以上の作品について内容の審議を行い、得票数も多いリフォーム賞1点、省エネ賞（特別賞）1点を選定した。

〈第二次審査の経緯〉

4月21日に審査員6名で6作品の現地審査を行った後、最終第二次審査に会場を移した。まず審査員全員で、周辺環境との調和、機能的な解決策、空間としての美しさ居心地良さを主な評価軸として、6作品について評価、議論を行い、その後一人1票の持ち点で投票に入った。その結果「流通経済大学龍ケ崎キャンパス2号館」が最高得票数を集め、知事賞に決まった。続いての5作品に対する投票では上位2作品が同点となったため、審査員一人あたり1位3点、2位2点、3位1点の持ち点での再投票を行った結果、「土浦協同病院附属看護専門学校」が県議会議長賞に選定された。同様に投票し、「木洩れ日トイレ」を県土木部長賞に、「ケアステーション梅寿園」を茨城新聞社賞に選定した。上記以外の2作品は一次審査の結果の通り、入選作品となった。

〈現地審査による入賞作品についての講評〉

■知事賞／「流通経済大学龍ケ崎キャンパス2号館」清水建設（株）一級建築士事務所

この建築は、キャンパス全体の要にある凛としたその外観がまず目に入った。敷地内段差の大きな斜面を回り込むアクセス条件を巧みに活かしたエントランスラウンジが、建物南西角に適確に設定されている。そこに足を踏み入れると、既存図書館と新館とを繋げるラーニングコモンズが眼下に広がり、波打つ柔らかな耐震膜天井や大学史を物語る木製レリーフ壁が学生を学びの館に誘う。この行動の起点となる秀逸な吹き抜け空間は、床や階段蹴上からの吹き出しによりさりげなく四季の居住域空調がなされている。

教室、研究室はPC版のスラブ天井により、効果的に天井高が確保されている。

この様に全般的に構造上・デザイン上の完成度が高く、審査員の高い評価を獲得した。

■県議会議長賞／「土浦協同病院附属看護専門学校」（株）河野正博建築設計事務所

四方を学び舎で囲まれた広い中庭を持つ空間が、この建築の象徴となっている。その西側の一辺に高い正面性を持つエントランスゲートがあり、一旦学生がこの開放的なゲートをくぐると深い学びの世界に入り心が引き締まる構成が評価対象の一つとなった。

用途として大切な教室、講義室、実習室は、自然光の入る明るい学習空間が好評であった。

中庭に面しての三層吹き抜け空間にあるコミュニティーラウンジが学生たちの心地よい居場所となっており、上下左右の視線が行き交うコミュニケーションの生まれやすい空間にもなっている。全体として今後の高齢社会においてニーズの高まる医療従事者に求められるチーム医療、最も必要なコミュニケーション力を促進する建築であることが評価された。

■県土木部長賞／「木洩れ日トイレ」（株）and HAND建築設計事務所

広々とした運動公園の一角に立つ粋な小建築である。屋根を支える鉄骨造純ラーメン構造と視線を遮るためのコンクリートブロック造（+ガラスブロック）の壁面を分離して、平面的にも立面的にも「ズレ」を発生させている。しかし、屋根を浮かせて軽やかに見せることに成功している。

場所柄としての防犯対策、安全対策に配慮しつつも、三角軒の天井、その脇から差し込む光に爽快感と清々しさを感じ、この小さな世界に入ると自然と見上げたくなる空間となっている。木立である鉄骨の柱がブースを仕切り、枝となる天井を県産材の杉板で仕上げる等、公園内のトイレに相応しい斬新な提案が評価された。

■茨城新聞社賞／「ケアステーション梅寿園」（株）ヤマト建築設計事務所

従来型特養もあるが、家庭に近い生活が少しでもできるようなユニットケア単位が中心の通所のない入居専用の特別養護老人ホームである。お風呂と食堂、談話室などが各ユニットに用意されており、居室では窓の腰高を低く（H＝325）設定し、ベッドや車椅子から屋外の景色が見渡せる。この様なきめ細かな配慮が随所に光っていた。

インテリアには床、腰壁、扉など身近な部分に木材を使用し、障子戸とあいまって居心地が良い。内壁面には珪藻土塗を多用し、調湿効果（梅雨でも床が濡れない）、空気の浄化（脱臭）、インフルエンザ対策等に効果を発揮している。

正面ファサードは住居の延長として切妻日本瓦葺きで軒高を抑え、外壁や塀を木板張りとして近隣住環境となじませている。入居者自身ご家族が安心できる建築が評価された。

以上、本茨城建築文化賞は例年作品の規模、種類、依頼主、工事単価等を全く考慮せずに選定している。そこに選考の難しさはあるが、今後も本賞の趣旨に謳われた目的に叶う「一つの建築として完成度の高い作品」を見出すべく審査に臨む思いでいる。時代の変化を読み込んだ、進取の気風ある、新たな提案作品を次年度も期待したい。

（入賞された方々、誠におめでとうございます。）

MOVE-A・S
ARCHITECT STRUCTURE OFFICE

有限会社 ムーブ建築設計事務所

代表取締役 渡辺章夫

〒310-0836
水戸市元吉田町122-1メルベーユ水戸ビル2F
T029-304-1818 F029-304-1822
E-mail : moveas@amber.plala.or.jp

建築設計・監理

株式会社 第一設計

代表取締役 大内 賢一

【本 社】〒312-0024 ひたちなか市勝倉 2671-1
【大平営業所】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3
TEL：029-274-3056 FAX：029-274-4604
E-MAIL：daiichi@intio.or.jp
URL：http://www.daiichi-design.jp

株式会社 **相澤建築設計事務所**

代表取締役　相　澤　晴　夫

㈳茨城県建築士事務所協会会員
㈳茨城県建築士会会員
〒300-1256　つくば市森の里１１６９－２
ＴＥＬ（０２９）８７６－０６１７
ＦＡＸ（０２９）８７６－０６７９

MASAHIRO KONO ARCHITECT&ASSOCIATES

株式会社 **河野正博建築設計事務所**

代表取締役　河 野 正 博

〒305-0817
つくば市研究学園５丁目６－６　Ｄ１２－５１０
TEL：029-861-8847　FAX：029-861-8848
E-mail：info@kono-arc.com　URL：http://www.kono-arc.com/

地質調査全般・各種土質試験・さく井工事・土壌汚染調査

常磐地下工業株式会社

代表取締役　伊藤 美智子

本　　社：〒317-0056 茨城県日立市白銀町２丁目２４－１１
TEL 0294-22-8196　FAX 0294-22-9857

ひたちなか(営)　〒312－0062 茨城県ひたちなか市高場２－１３－４
TEL 029-212-7660　FAX 029-212-7661
E-mail：info@jyouban.co.jp

安全、安心、快適なくらしを
お届けします。

三和シヤッター工業株式会社

〒310-0055 水戸市袴塚 3-12-32
三和シヤッター工業株式会社 水戸統括営業所
統括所長 後藤英昭
TEL.029-225-1651 FAX.029-227-2513

環境に優しく
高所で未来を創る
スチール・ウッドのエキスパート
SW事業部(先行手摺くさび足場)

MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 松本総建　代表取締役会長 松本 一幸

— 特定建設業 —　茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店　〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2　TEL 029-295-7715(代)　FAX 029-295-6548

本　　社　〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
営　業　所　〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6
第一機材センター　〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1
第二機材センター　〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1
第三機材センター　〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1

《営業内容》■枠組足場工事 ■くさび式先行手摺足場 ■鉄骨建方工事 ■建築土工事 ■土木工事 ■外構工事 ■足場提案企画

設計・監理

株式会社
須藤隆建築設計事務所

代表取締役　須 藤 隆

〒 300-0034
茨城県土浦市港町 1-7-23　ホープビル 9F
TEL.029-822-4362 ㈹
FAX.029-822-4394

＜ 防災・通信・電設・セキュリティー ＞

MBT

ミナト防災通信工業株式会社

～ MINATO BOUSAI CO.LTD SINCE 1974 ～

www.minatobousai.co.jp

編集後記

Editors Voice

2018.July

会報「茨城」67号の編集後記にて、ひとまず2期4年の広報委員会での活動を卒業させていただくことになりました。

思い起こすと、広報委員長を拝命し59号でいきなりの30周年記念誌、全国大会茨城大会の記念誌、そしてホームページのリニューアルと紙面デザインのリニューアル等と盛りだくさんの日々でした。

今期から年3回の発行となりますが、その企てをしながらの他委員会への配属となり、心苦しいところですが、広報委員会の諸先輩の顔を浮かべながら、半ばほっとしているところでもあります。

今後は、別の誌面でお目にかかることになりますが、引き続きご指導いただけますようお願いいたします。

これまでに、原稿依頼、広告協賛依頼と無理難題にご協力いただきました会員の方々（特に各委員長様！）、事務局そしてデザイン印刷会社の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。（大山）

初めての広報委員会所属、いわゆる未経験。

各委員の発言を耳をすまして聞く、頁数の確認、レイアウト、カラーか否か、広告、著作権、部数、年間計画、次号の予定、役割分担等々、中崎委員長が手際よくさばく。

「これからは私も少しでも役に立つよう頑張ります。」と肝に銘ずる。（大内）

今年度より事務所協会に加わりました山田一博です。いきなり副委員長を仰せつかり、会議のたび緊張感と共に臨んでいます。右も左もわからないというのが正直なところですが、少しでも良い誌面になるように努めたいと思います。同時に中崎新委員長を支えつつ、広報の活動に貢献できるよう取り組んで参ります。ご指導の程、宜しくお願い致します。（山田）

新たなメンバーでの広報委員会が始まりました。今年度からは会報誌の発行が年3回となりますので、今までの2回の内容を3回に分けるだけでなく、より多くの情報をタイムリーかつスピーディーにお知らせできるよう取り組んで行きたいです。（茂垣）

普段の自身の会社業務とはまったく違う広報の作業は新鮮です。図面や見積書ではない文書をつくるのはいい刺激になります。

今年度からは年3回出版になりますので会員の皆様、是非いい記事をご提供お願いいたします。（郡司）

この度会報を編集する作業に初めて携わりました。

特に興味深かったのが表紙の写真のレイアウト及びデザインを選ぶ過程で各委員が今回の会報だけでなく次回以降も踏まえたストーリーを考えて選考理由を出し合っている点でした。

次回からは自分もより良い会報作りに少しで貢献できるように頑張っていきます。（草苅）

新年度より、広報委員会委員長を仰せつかりました中崎です。

大山前委員長の下では、前委員長がリーダーシップを発揮され、私などは付いていけば良かっただけですが、改めましてその職責を行うに当たっては、仕事量の多さ・緻密さに、右往左往するばかりです。

今回の67号、次いでの68・69号も含め、前委員長が道筋をつけて下さり、且つ、青山副会長、大内常務理事はじめ、理事・委員の方々に助けられ、67号発刊の運びとなりました。

これからも、会報誌発行、及び他の事業を含め精一杯努めて行きたいと思っております。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。（中崎）

編集メンバー

〈平成29年度〉

田中 健一	早川 富二雄
大山 早嗣	小谷野 栄次
市毛 純一	塙 秀之
富田 清一	鈴木 啓之
中崎 妙子	江面 松男
茂垣 直樹	郡司 政美
石嶋 尚	

〈平成30年度〉

青山 立美	大内 賢一
中崎 妙子	山田 一博
塙 秀之	富田 清一
藤井 耕市	小谷野 栄次
鈴木 啓之	江面 松男
茂垣 直樹	郡司 政美
石島 尚	福田 明良
草苅 秀明	

会報［茨城］

2018年7月 第67号

発行 ● 平成30年7月1日（年3回1月・7月・10月発行）

発行部数 ● 800部

発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
会長 舟幡 健
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
建築会館2階
TEL.029-305-7771／FAX.029-305-7791
ホームページ http://www.i-jk.org
Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● （株）メディアクロス水戸

http://www.i-jk.org

株式会社 増山栄建築設計事務所

代表取締役 増山 栄

本 社 〒305-0047 茨城県つくば市千現1-12-2-305号室
本社設計室 TEL（本社）029-869-6123（設計室）029-893-6012 FAX 029-852-3810
土浦支店 〒300-0871 茨城県土浦市荒川沖東3-1-34
TEL 029-843-6011 FAX 029-843-3122
URL：http://www.masuyama-arc.com

天井落下防止・特定天井対策

直付けシステム天井 CPS工法

COMFORT TEC

直付けシステム天井のパイオニア

コンフォートテック株式会社

本 社 千葉県千葉市中央区問屋町1-55 シーオービル6F
TEL 043-305-4780 FAX 043-305-4781
仙台営業所 宮城県柴田郡柴田町船岡東２丁目６－11
TEL 0224-87-6981 FAX 0224-87-6980
郡山営業所 福島県郡山市鳴神３丁目217 中野ハイツ１F
TEL 024-983-5101 FAX 024-983-5103
URL http://www.comfort-tec.co.jp/

会報 茨城

IBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会／2018年7月　第67号

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
http://www.i-jk.org